

俳句の指導をしてもらいました

6月23日（月）に、神石高原町在住の藤井逸馬先生をお招きして、俳句の指導をしていただきました。

児童が4月・5月につくった俳句をもとに、俳句のつくりかたのこつとして、

- ・ 俳句には、季節を表す季語を入れる。
- ・ 季語は一つだけ入れる。
- ・ 豊松という言葉や豊松独特の季節を感じさせる言葉を入れるのもよい。
- ・ 17文字にするために、言葉を精選・整理する。
- ・ 「〇〇が～だ」の文を「～だ〇〇が」と入れ替えると（倒置法）新鮮になることもある。
- ・ 見えた物、数、音やにおい、人の動作などを入れると雰囲気がよく伝わる。



などたくさんのお話を教えてもらいました。



これからもしっかり五感を働かせて自然を観察し、感じたことを17文字で表すことで、感性や表現力を育てていきたいと思います。